

障がい福祉施策懇話会会議録

審議会等の名称	第 1 回山口市障がい福祉施策懇話会
開催日時	令和 6 年 1 1 月 2 7 日（水曜日） 1 4 : 0 0 ~ 1 5 : 2 4
開催場所	第 1 0 ・ 1 1 会議室
公開・部分公開の 区分	公開
出席者	藤田久美会長、佐藤真澄委員、村中勝美委員、井上 昇委員、徳田 誠委員、 谷村律弘委員、林和子委員、藤岡亜希子委員、津田安史委員、松本 正委員、 在木大介委員、大草香代委員、三輪治彦委員、柳谷統子委員、田中芳明委員、 徳永真実委員、品川大和委員、岡本直也委員、安田絵美委員、岡崎智恵子委員、 杉原大輔委員、本城 彰委員、杉山和紀委員 （2 3 人）
欠席者	國近英樹委員、三好正敬委員、清水洋子委員、坪井昌江委員 （4 人）
事務局	（健康福祉部） ： 鈴木部長 （障がい福祉課） ： 河口課長、末岡副参事、齋藤主幹、久保主幹、 小林副主幹、川野主任主事 （7 人）
議題	1 開会 2 開会行事 （1）健康福祉部長挨拶 （2）会長選出 （3）会長挨拶 （4）会長代理指名 3 議事 （1）山口市障がい者きらめきプラン（第四次山口市障害者計画）の進捗状況に ついて （2）山口市障害福祉サービス実施計画（第四次山口市障害福祉計画・第二次山 口市障害児福祉計画）の実績について （3）次期山口市障がい福祉サービス実施計画の策定スケジュールについて （4）次期山口市障害福祉サービス実施計画策定に係るアンケートの概要につい て 4 閉会
内容	次第に基づき、次のとおり進められた。 【健康福祉部長挨拶】 【会長選出】 ＜事務局＞ 会長については「山口市障がい福祉施策懇話会設置要綱」第 5 条第 1 項におい

て、委員の互選によって決めることになっていることを説明。立候補または推薦を委員に求める。

<委員>

藤田委員を会長に推薦。委員一同承認。

【藤田会長挨拶】

【会長代理指名】

佐藤委員を会長代理に指名。

<事務局>

会議内容について原則公開することとし、議事録についても公表させていただくことを提案。了承

議事の進行を会長に依頼。

【議事】

<藤田会長>

(1) 山口市障がい者きらめきプラン（第四次山口市障害者計画）の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

<事務局>

資料1に基づき、説明。

<藤田会長>

御説明ありがとうございました。ただいま山口市障がい者きらめきプランの進捗状況、令和5年度の取組をすごく丁寧に御説明いただいて、委員の皆様の中にも直接関わられていたり、あるいは間接的に関わられた方がいるかもしれません。ただいまの説明に対して御質問等がありましたら挙手でお願いいたします。

<松本委員>

説明ありがとうございます。その上でちょっと確認というか、改めて説明を聞きたいなと思ったことがありましたので御質問させていただきます。資料の6ページの一番上の段なのですが、ごみ出し支援事業による支援の試行的実施と書いてあって、こういうことをしているのだというのをはじめて知ったのですけれども、これがどういう状況になっているのかというのを説明していただけると助かります。

<事務局>

資料の6ページの一番上の段のごみ出し支援事業についての御質問であろうかと思えます。こちらは清掃事務所のほうが担当課ということで実施をしている事業でございまして、令和5年度取組欄のほうに記載をさせていただいておりますけれども、現在5件の世帯に対して認定し、実施をしているというところでご

ざいます。ちょっと詳しい状況が今すぐに分かりませんので、またお調べいたしまして御回答させていただければと思っております。

<藤田会長>

ありがとうございます。調べられましたら松本委員のほうにお知らせいただけたと思います。ほかにございますでしょうか。施策1－3の障がい児発達支援の進捗状況の説明で愛さんの名前が頻繁に出たのですけれども、御協力ありがとうございます。大草委員さん、何か御意見があればお願いいたします。

<大草委員>

子ども発達支援センター愛の大草でございます。親子で遊ぼう凸凹フェスタというちょっと聞きなれないようなお名前があったと思うのですが、これは3年前から、障がいがあって特性がある子供を育てる親子が安心して遊べる場の提供ということで3年前に始めました。市内の児童発達支援事業所の方にも声かけをして、そこに通所する親子の方、それからそこで働かれている先生にも声かけをして、子ども発達支援センター愛と隣接します愛児園湯田保育所の施設も開放いたしまして、遊びの場を提供いたしました。毎年少しずつ参加が増えておりまして、初めて会う市内の事業所を使われている親子さんのすごく楽しかったね、また来たいねというような声が本当にとてもうれしく思っております。なかなか職員もそろったりそろわなかったりの中で何とか一生懸命頑張っております。お世話になっております。ありがとうございます。

<藤田会長>

山口市のこういう取組を推進していく中で、幼少期からのそういう環境の場の提供とか、障がいのある子供たちだけではなくて、大人も、障がいのない子供たち、兄弟たちも一緒にということで、本市における人材育成にもつながると思いますので、ぜひともよろしくをお願いいたします。そのほかに委員の皆様から御意見ありますでしょうか。よろしかったでしょうか。

それでは進めさせていただきたいと思います。(2)の山口市障害福祉サービス実施計画(第四次山口市障害福祉計画、第二次山口市障害児福祉計画)の実績について、事務局より説明をお願いいたします。

<事務局>

資料2に基づき、説明。

<藤田会長>

御説明ありがとうございました。ただいま、山口市障害福祉サービス実施計画の実績について御説明がありましたが、御質問等ありましたら挙手をお願いいたします。

徳田委員さん、山口市ではこの間、こういう計画に基づいて聴覚障がい者の理解や手話が言語だということを随分進めてきたのですが、何か当事者としての御意見があったらぜひ伺いたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

<徳田委員>

聴覚障害者福祉会の徳田です。手話通訳者設置事業のところに設置人数4人とありますが、1人辞められて今3人なのです。社協の南部支所に1人いたのですが、それがいなくなって3人の状態なのですが、阿知須とか秋穂の方が相談に行くのに、山口まで来るのが大変ということで、この4人というのは今後増えるのが決まっているのか、まだ、募集するところなのかというところを知りたいなと思っています。

<田中委員>

山口市社協の田中と申します。お世話になります。ただいま質問のありました、この報告の中では4名ということになっておりますけれど、昨年度まで4名体制が築けていたのですが、嘱託職員が1名年度末で急遽退職をした関係で現在は3名で業務のほうを担っております。これまでもですけど、今からも人材を一人募集していくところです。12月に入ったら新たな募集がまた始まりますので、良い人がいないか探しているところでございます。早く4名体制にしたいと思っていますので、引き続きよろしくお願いいたします。

<藤田会長>

ブルーライトが結構出てきたのですが、やはりこういう啓発活動というのは1回だけやるのではなくて、何年も続けてやるとか、それから山口市が助成金を出したり、市が協力してこういう計画に載せているということは意味があると思うのですが、ずっと関わってこられた藤岡委員さんから御意見をお聞きしておきたいと思います。

<藤岡委員>

名簿にはマザーズスマイル山口というふうにあるのですが、ブルーライトやまぐちの事務局をやっております藤岡と申します。毎年、補助金をいただき、そして毎回会議のときに担当の職員さんが1人いらっしゃって、3月末にいつもイベントを行うのを1年間かけて考えていて、いろいろな方に御協力をいただきブルーライトアップが続いてきているわけなのですが、これも皆さんの御協力と、そして補助金をいただけるような形にさせていただけたおかげかなとすごく思っております。ずっと続けていけたらいいなと思っているのですが、前もこの場で言ったかなと思うのですが、新しい庁舎はぜひブルーライトアップのできる新庁舎にさせていただけたらと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

<藤田会長>

ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。ほかに御意見ありますでしょうか。今日はいろいろな立場の方がおられるのですが、こういう施策や計画を進めていくときに、当事者の方や当事者の方の御家族の方、また御兄弟、そして当事者と寄り添っていらっしゃる支援者の方がやはり一緒になっていろいろなことをやっていく。これは先ほどのブルーライトアップもそうなのですが、ボランティア的なことも多いのですが、そういった機運が高まって

いくと山口市ももっと安心できるまちになるのだと思います。今日こうやって委員の皆様がお忙しい中集まっていたいただいたことにも意味があると思います。もし何かあれば、遠慮なく挙手をしていただけたらと思います。

<谷村委員>

山口市腎臓病友の会の谷村です。12ページの移動支援事業というのはどういうものなのでしょうか。

<事務局>

移動支援事業につきましては、こちらに掲載しております山口市が独自に行う事業でございまして、障害福祉サービスの中には視覚障がいを持たれた方に同行援護というサービスがあります。これは、視覚障がいを持たれた方等に危なくない等付き添う、介助するサービスでございますが、そうではなくて、視覚障がいではないけれど、御本人さん一人で移動するのが非常に難しい、行った先でお手伝いが要ると、基本的には移動のお手伝いをメインでやるというような事業が障害福祉サービスの中でちょうどスポット的に空いているために、ここをカバーするためのサービスということで行っているものです。

<佐藤委員>

山口学芸大学の佐藤です。私も先ほどの12ページの移動支援のところが少し気になっていて、ほかのサービスが増えて、利用実績が増えてきているけれど移動支援が増えていないのは、必ずしもまだコロナ禍の影響なのかなという、今の世の中の状況から考えるとこれをコロナ禍の影響だけで分析するのはどうかなというの少し感じました。それで、今質問があったみたい、やはりサービスそのものが浸透していないのではないかなというふうに読めるかなというのが感想でした。あともう一つ、ちょっと私が聞き逃したのかもしれないのですが、次の13ページの地域活動支援センターI型だけが見込みと実績で、ほかのサービスに比べて利用人数がすごく差が激しいのです。何かこのあたりの理由を教えてくださいましたらと思います。

<事務局>

移動支援につきましては、佐藤委員さんおっしゃるように、なかなか周知が足りてないというところもあるのかもしれませんが、その辺りについて、周知を含めて今後検討してまいりたいと思います。もう一つ、13ページの地域活動支援センターのI型についてでございますが、こちらについては、令和3年度の実績に比べると減少しているという状況もございまして、この辺りがコロナだけの影響なのかどうかというのがちょっと今はっきり分らないところではございます。その辺り、また本市のほうで分析して今後の活動に生かしてまいりたいと考えております。

<佐藤委員>

別に移動支援が多くなればよいというわけではないと思うのです、それで十分にニーズが満たされているのであれば。ただ、何かやはり使いにくさとか、

そういうものの表れなのかなというのが少し思ったのと、先ほどの地域活動支援センターのところはコロナ禍というよりはちょっとあまりに見込みと実績がかけ離れていたもので、最初の見込みの立て方、今後の見込み量の設定が少し課題かなと思いました。

< 藤田会長 >

御意見ありがとうございました。意見を踏まえて、今後の取組をしていただきたいと思います。それでは、次の議事に移らせていただきます。

(3) 次期山口市障害福祉サービス実施計画の策定スケジュールについて、事務局より説明をお願いいたします。

< 事務局 >

資料3に基づき、説明。

< 藤田会長 >

御説明ありがとうございました。委員の皆様にも今から関わっていただくのですが、策定スケジュールについて御説明がありました。これに関して何か御質問はありますでしょうか。

→ なし

< 藤田会長 >

それでは、(4) の次期山口市障害福祉サービス実施計画策定に関わるアンケートの概要について、事務局より説明をお願いいたします。

< 事務局 >

資料4に基づき、説明。

< 藤田会長 >

御説明ありがとうございました。今回はアンケートの概要について説明がありまして、内容については経年変化を見ていくということで変わらないということです。ほぼ変わらない、国の施策と関連しないところは変わらないということです。方法については、オンラインを導入することも検討されているということでしたが、これについて何か御質問等ありますでしょうか。

私から質問いいですか。内容はこれから考えていただくということで、オンラインというのはG o o g l e フォームで考えられていますか。

< 事務局 >

山口市の場合は、オンラインの回答でL o G o フォームという様式がありまして、こちらを利用するということを今考えております。QRコードを読み込んでフォームに飛ぶという仕組みがありますので、アンケートの量がかなり多いのでこれがオンラインで果たして耐えうるかというところは検討の余地があるのですが、そこを含めてクリアできればと、導入も進められればというふうに考えています。

< 藤田会長 >

オンラインでやるのが苦手な世代がどこからか分からないのですけれども、近年

はオンラインで、G o o g l e フォームとかでやったほうがアンケートの回収率が高くなるということが研究とか調査でもあるので、よりよい方法を、またその世代の人たちも市役所にいっぱいいらっしゃると思うので話をお聞きしながら進められたらいいのかなと思いながらお聞きしました。

ほかに御意見、御質問等ありますか。

→ なし

< 藤田会長 >

今日は概要ということなので、また詳しい内容が決まりましたら皆様からの御意見をいただければというふうに思います。それでは、以上で本日の議題が終了しましたが、全体を通して委員の皆様から何か御意見、御質問等ありますでしょうか。

< 杉山委員 >

公募委員の杉山でございます。私、認知症サポーターなのですけれど、認知症の方が結構多いのです。これが障がい者としてどういう扱いを受けているのかなと。お年寄りの方にどうしたのですかと言うことが何回かあったのですが、その方はタクシーが通るのを待っているという話でした。今頃タクシーは通りますよと言って、電話でタクシーを呼んであげたらすぐに来ましたけれども、そういう認知症、特に高齢者の認知症の方が結構増えていますので、その辺の扱い、障がい者の中に入れるのかどうかちょっとよく分かりませんが、その辺が今かなり増えてきて、私もそういう年代なのですけれど、要するに団塊の世代がやはりどっと増えていますから、これが皆もう後期高齢者になっていますので、今後5年か3年もすればどっと認知機能が落ちてくると思います。

< 藤田会長 >

貴重な御意見ありがとうございます。地域共生社会を構築していくという山口市の大きな実現に向けての取組というのが様々な関係の部署で取り組まれている、こちらは障がいの担当課のほうなのですけれど、認知症については高齢福祉課のほうになろうかと思いますが、取り込まれていることについて御存じだったら教えていただけたらと思います。

< 事務局 >

認知症サポーターの件については、基本的には高齢福祉課というところでの対応になります。それで、委員さんおっしゃった認知症の障がいでの取扱いにつきましては、実はすごく微妙なところで、要は認知症であるという症状そのものが何らかの障害者手帳と直接リンクするかっていうとリンクする状況にはないという状況です。高齢の方の認知症につきましては、どちらかというと介護保険のサービスが優先してということになろうかと思いますが、ただ、そういった中で、要は認知症の方でも介護保険以外——例えば就労をしたいのだとかというサービスの御要望があったときに障害福祉のサービスの中でどのように対応するかというのは、おっしゃるとおりどのような道があるのかというのは我々もちょっと考え

	ていく必要があるかなとは思っています。 <事務局> ちょっと補足で、認知症の方が障害施策でどういった関係があるかというところになるのですが、重度の方になろうかと思うのですが、精神障害者保健福祉手帳の対象になる方もいらっしゃると思います。その辺り、精神のほうの診断書をとっていただいて、認められればというような話にはなろうかと思えますけれど、そういった流れの中で、市の今の精神障害者保健福祉手帳の所有者の方というのも、認知症に限ったことではないかもしれませんが年々増えてきているという状況もございますので一応お知らせしておきます。 <藤田会長> 貴重な情報ありがとうございました。地域の方にはいろいろな方たちがいらっしゃる中で安心して自分らしく暮らすことができるためには、認知症とか障がいとかあまり関係なく、市民の皆様が温かいまなざしを持って、その目の前の人を理解していくということが大事だと思いますので、障がいとか高齢とか、そういうのはあまり切らないで考えていく部分もとても大事なのかなと思いながらお聞きしました。貴重な意見ありがとうございました。今日御説明があったところでここはちょっと分からなかったとかがありましたら事務局のほうにお問い合わせいただけたらと思います。 それでは、以上で議事が終了したので事務局のほうに進行をお返ししたいと思います。 <事務局> 参考資料に基づき、説明。 【障がい福祉課長閉会の挨拶】 <事務局> 以上をもちまして、懇話会を終了とさせていただきます。大変お忙しい中、誠にありがとうございました。 終了
会議資料	令和6年度山口市障がい福祉施策懇話会次第 山口市障がい福祉施策懇話会名簿 山口市障がい福祉施策懇話会設置要綱 席次表 【資料1】山口市障がい者きらめきプランの進捗状況（令和5年度の取組） 【資料2】山口市障害福祉サービス実施計画の実績と令和6年度の見込 【資料3】第六次山口市障害者計画・第四次山口市障害児福祉計画（障害福祉サービス実施計画）策定スケジュール

	【資料４】次期計画策定に係るアンケートの概要 【参考資料】発達障がい児支援「支援者用ガイドブック（乳幼児編）」をご覧ください - 山口市ウェブサイト
問い合わせ先	健康福祉部 障がい福祉課 障がい者支援担当 TEL ０８３－９３４－２７９４ FAX ０８３－９３４－４１４２